

NTID 訪問メモ

筑波技術短期大学

渡辺 隆・荒木 勉

概 要

昨年（1997年）10月、NTID（National Technical Institute for the Deaf）を訪問した。今回の訪問では科学研究費：国際学術研究（聴覚障害者に適したマルチメディアの活用とインターネットを介した日米大学間画像伝送実験）による研究の開始に向けて、インターネット利用状況・授業の視察やNTID の研究者との情報交換などを行なった。

米国ニューヨーク州北部ロチェスター市にあるNTID に滞在したのは10月27日から31日までの4日間であったが、この間に別表に列挙した項目について視察や打ち合わせなどを行った。先方の教官・事務方の熱心な Arrangements のお陰で、短期間の割に多くの授業をみたり多数の研究者と会うことができ、効率的であったが、一方かなりのハードスケジュールでもあった。

今回の訪問で特に興味があったのは、教育へのインターネット利用状況であった。NTIDではほぼ全員の学生が電子メールを利用しており、各種連絡に多様な目的に使っている。また、本科研費グループに属している NTID 教官を中心とした実験的試みであるが、教材・授業予定・課題などを教官の Web のページに掲載し、学生が寄宿舍や大学のコンピュータからこれを閲覧して予習・復習に利用したり、授業で Web のページをスクリーンに投影して教材として利用していた。本学に比べてインターネットの利用がかなり進んでいると感じた。このような利用環境を作るため、学科やセンター内に学

生が自由に利用できるコンピュータシステムを設置して、管理専門職員や学生アルバイト（主に RIT の graduate コース）などを動員してコンピュータやネットワークの日常的な管理が行われていた。コンピュータのソフト・ハードの変化が急速であることや複数の利用者により酷使されるためトラブルが発生することが多いので、ハードディスク管理や、メモリー拡張などのハードのメンテナンスや、ソフトのバージョンアップなど手間のかかる管理作業が多い。このような日常的な管理のためのマンパワーを確保することが非常に重要になっている。

このような授業などでのネットワーク活用は、同じく障害者教育を本務とする本学でも優先度の高いものである。本学では教官のネットワーク利用は軌道に乗ったが、学生の利用はこれからである。今後、学科等でのコンピュータの設備や管理・授業支援体制を検討する必要性を感じる。専門職員にあたる人材が極端に不足している本学では、設備の導入はともかく、管理・授業支援体制の点でかなり大きいハンディキャップがあり、NTID 同様の利用環境を作るのは現時点では非常に難しいという印象を持った。

NTID は RIT という優秀な大学と同居しており、学生の進路選択（コースは2年、3年、4年、大学院などがある）の幅も大きく、授業の選択も多様である。学生は、入学当初から自分の進路を常々考えることが習慣化しているようである。授業に臨む学生の多くはまじめで好感が持てた。

別 表

1. 施設見学・授業参観・通信実験

(1) コンピュータ・インターネット利用状況の視察

- ・ Learning Center
- ・ Smart Classroom
- ・ Self-Training Laboratory (自己訓練室)
- ・ Department of Applied Computer Technology (ACT)
- ・ Computer Engineering Services

(2) 授業参観

授業	曜日・時間	担当教官	教室
・ " Application Software"	Wed,Fri 8-9 am	W. Clymer	Smart Classroom
・ " CAD"	Wed. 10-11 am	J. Amon	Mech.Engineering
・ " Intermediate Internet"	Wed. 11-12 am	D. Beil	ACT
・ " Trends in Communication Technology"	Fri. 11-12 am	D. MacKenzie	Smart Classroom

(3) 学科視察

- ・ Applied Computer Technology (ACT)
- ・ Electromechanical Technology

(4) マルチメディア通信 (Cu-SeeMe)

- ・ NTID - TCT 間
- ・ NTID - 熊本ろう学校間

(5) Business Meeting (10月 30日 7:30 - 8:30 am)

- ・ 米国 Hitachi Grant への NTID の proposal
- ・ 科研費による相互交流計画
- ・ grant の性格付け (科研費との関係など)
- ・ 出席者: De Caro, E.W. Clymer, M. Marshark, A. Austin, 荒木, 渡辺, Kathleen M. Martin (officer), Kyoko M. Ingalls (通訳)

(6) National Advisory Group 昼食会への出席 (10月 30日および 10月 31日)

(7) 寄宿舍の視察 10月 29日 (水)

付録. 訪問・授業参観した人々

教官

E. William Clymer : Associate Professor, Instructional Developer (ewcnpc@ritvax.isc.rit.edu)
NTID Department of Educational Resources
授業 “Application Software” 参観, CU-SeeMe技術支援

Donald Beil : Professor, Applied Computer Technology, NTID
授業 “Intermediate Internet” 参観 (dhbndp@rit.edu)

Donna Lange : Chair Professor, Applied Computer Technology, NTID
学科の授業紹介 (DALNDP@rit.edu)

John N. Amon : Department of Mechanical Engineering, NTID
“CAD” 授業参観

Douglas J. MacKenzie : Audiology Department, NTID
“ Trends in Communication Technology” 参観 (DJMNCA@rit.edu)

David E. Lawrence : Assistant Professor, Department of Industrial Technologies, NTID
学科カリキュラムの紹介 (delnet@ritvax.isc.rit.edu)

Mark Marschark : Director, Center for Research, Teaching, and Learning, NTID
ラーニングセンター長 (MEMRTL@rit.edu)

Allen A. Austin : Assistant Professor, Department of Speech/Language, NTID
音声認識技術開発 (AAANCI@rit.edu)

Jorge Samper : Associate Professor, NTID
NTID 紹介 CD-ROM の開発

James DeCaro : Dean, NTID
TCT-NTID 共同研究

Robert Davilla : Vice President, NTID
表敬訪問

そのほか: Susan Fischer, Arbertini, Dale Rockwell 各先生にお会いした。

技術者・専門職員

Carmella A. Chamot : Supervisor, Learning Center, NTID
Learning Center および smart class の機能紹介

Bonnie Mumford : Self-Instruction Laboratory, NTID
ASL Video Disk and newly developed CD-ROM の紹介

Cecelia Dorn : 画像処理プログラマー, Computer Engineering Services
NTID 紹介 CD-ROM の開発

Mark Benjamin : Photographic Division
写真撮影処理技術者

事務

Robert Baker : NTID (BAKER.RK@a1.isc.rit.edu)

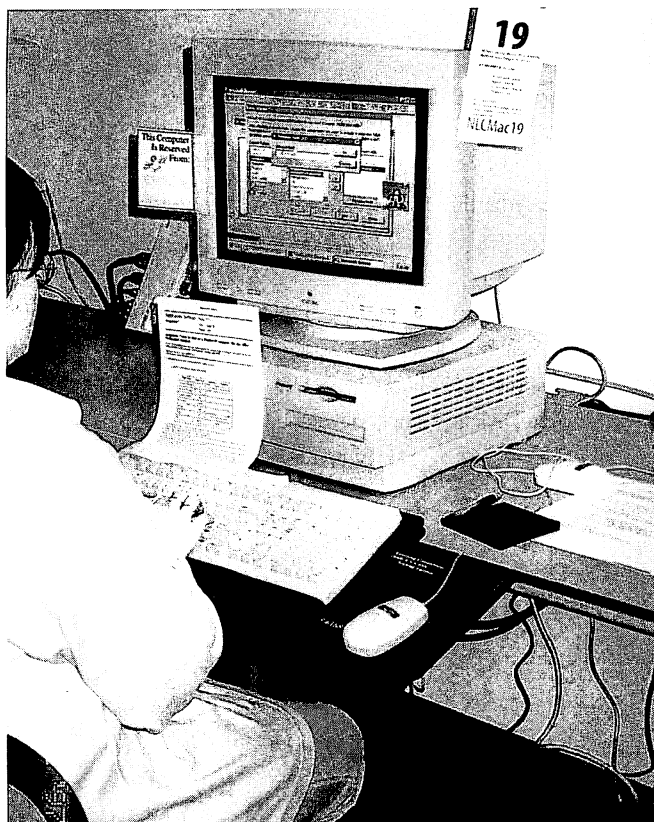
Kathleen M. Martin: Senior Development Officer, NTID

Kyoko M. Ingalls: Assistant Director, International Relations, RIT (ingallsw@frontiernet.net)

El Kaigler : Information Office, NTID



NTID LEARNING CENTERの様子



Smart Classroom で演習を行なう学生